

八戸工業高等専門学校

同窓会会報

八戸高専同窓会 第42号

同窓会会報 42号の目次

全国高専プロコン競技部門初優勝！	1	学内ニュース	6
会長あいさつ	2	コースからのメッセージ	10
校長あいさつ	3	平成28年度 事務局短信	12
支部会報告	4		
私のお仕事紹介します	5		

～全国高専プロコン競技部門初優勝！～



競技部門初優勝の快挙達成！

会長あいさつ



同窓会50周年を迎えるにあたり

【同窓会会長 館山 勝】

同窓会会長に就任し、あっという間に1年が過ぎ、ようやく何をやればよいのか分かってきたところです。平成30年には同窓会も50周年を迎えます。次の50年を見通し、幅広い世代の方々が楽しく参加頂ける同窓会を目指し、少しずつ活動を見直して行きたいと考えております。

山本前会長からの引継ぎでは同窓会の当面の課題として、支部体制の再検討、会費納入率の向上、名簿やHPの充実を挙げて頂きました。これらについてはいずれも重要な課題であり、以下にそれぞれについての所感を述べてみたいと思います。

（支部体制）

八戸高専同窓会では3支部体制（東北、関東、関西）となっております。この体制は、同窓会創設時には地域の往来が少なく、会員も少なかったため有効に機能していたものと思われま。しかしながら、新幹線が整備され、インターネットが発達した現在では、支部が地域単位である意義は小さいと思われま。現在、執行部では、同級、同期、同学科、同職場、同趣味、同境遇など、現行支部よりは小さい単位の集まりをどのように集約

し、どのような支援が出来るか検討しております。9月に予定されている八戸総会において、具体的な提案を行う予定です。

（会費）

同窓会費は10年会費（7,000円）と終身会費（30,000円）からなっておりますが、平成27年度の会計報告によると、10年会費の納入者173名（卒業生169名、それ以外4名）、終身会費納入者1名となっており、実質的には卒業生（同窓会新入会員）が同窓会の活動資金を提供している状況にあります。中高年が主体の同窓会活動費を若年世代が支えているという、本来の趣旨とは全く逆の構図となっております。また、年間の活動費は130万円規模であり、支部活動費や学校支援費、事務局経費など十分に確保できない状況にあります。今後、会費納入率の向上、納付方法の簡便化、会員サービスの世代間格差の是正などに取り組みたいと考えております。

（会員DB、HPリニューアル）

上記課題の解決策として、会員DB（名簿）やホームページの全面改修を行います。これにより、通信費、印刷費、名簿更新作業の効率化、会費納入者の増加、振込み手数料等の削減、会員へのリアルタイムな情報の発信、同窓生相互の情報交換ツールとして有効活用等が図れると考えられます。また、多種多様な同窓生の集まりを企画することも可能となります。

なお、5月に行われました評議会において、同窓会50周年の記念事業として上記に取り組むことと、そのための特別予算の計上が了承されました。また、3つのWGを設置し、具体的検討を行うことにしております。特に若い方の積極的参加をお待ちしております。

今後、同窓会活動へのご理解、ご協力の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。

校長あいさつ

本校は平成 25 年に創立五十周年を迎え、昨年 7 月には 170 名が収容できる創立 50 周年記念ホールが完成致しました。創立五十周年記念事業に対して、卒業生・修了生の皆様から多額のご寄附を頂きました。ご協力頂いた同窓会の皆様の温かいご支援とご協力に対して、あらためて深甚の感謝を申し上げたいと存じます。

平成 27 年度は学科・専攻科の再編、4 学期制の導入など、新たな八戸高専を目指した 1 年でした。平成 28 年度の入学試験の倍率は昨年度の 2.2 倍と同様であり、特に、女子入学生の比率が昨年度 36%、本年度は 30%と増加しております

平成 27 年度に導入した 4 学期制は、2 学期制に慣れた 2~5 年生には戸惑いもあったようです。新しい 4 学期制度の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤を培い、主体的に学ぶ習慣や社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような教育カリキュラムの導入です。教えられる場から自ら学ぶ場への転換です。特に、1~3 年生次対象とした自主探究学習は、1 年間を通じ、特に秋学期（9~10 月）を主な学期として、学生自らが課題を設定し、調査や実験し、答えを導き出すという教育プログラムです。ほとんどの学生が自ら探究したいテーマ探しに苦慮していたようですが、探究成果発表会では、柔軟で斬新なものが多く、外部審査委員からは高く評価されております。この 1 年間の 4 学期制を通じて、学生は小中学校の体験から学校は教えられる場であるという認識であり、自ら学ぶ姿勢に欠けていることが判明しました。51 高専のトップをきって導入した本校の 4 学期制についてこれからの教育成果が注目されております。平成 28 年 11 月 8 日~10 日に自主探究学習の発表会を公開で開催致しますので、是非、ご参加いただければ幸いです。



【特別会員・学校長 岡田 益男】

就職・進学率ですが、本年度の本科の進学率は昨年度と同様の 45%、専攻科では多くの有名校に挑戦し合格となり、進学率は 48%でした。これは、本科や専攻科の学生が積極的に編入学試験や大学院入学試験に挑戦した結果だと存じます。就職も例年以上に好調でした。また、課外活動、クラブ活動についても素晴らしい実績を挙げております。

平成 27 年度の本校の人事異動ですが、平川武彦教授、工藤隆男教授、金子仲一郎助手は平成 27 年 3 月 31 日をもって定年退職となりました。先生方の本校への永年のご尽力に敬意を表するとともに、深甚の感謝を申し上げます。

また、環境都市・建築デザインコースに平成 27 年 6 月 1 日付で庭瀬一仁准教授、マテリアル・バイオ工学コースに 9 月 1 日付で新井宏忠准教授と 12 月 1 日付で門磨義浩准教授、平成 28 年 4 月 1 日付で総合科学教育科に和田和幸助教、機械システムデザインコースに井関祐也助教が赴任されました。今後のご活躍を祈念致しております。同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部会報告

関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部 戸田 和孝】

同窓生諸兄にはご健勝のことと存じ上げます。関東支部では今年度サロン会を2回開催いたしましたので、その内容を以下にお知らせいたします。

第32回サロン会（2015/10/31開催）

東京・八丁堀の貸会議室にてC科2回生の工藤康夫さんに「導電性ポリマーとの出会い」とうテーマで講演していただきました。

工藤さんは八戸高専卒業後に松下電器産業株式会社に入社され、定年退職されるまでに関連会社や財団法人への転勤・出向も経験されながらご活躍されました。また東京工業大学の非常勤研究員もされる一方、コンサルタント事務所も設立されました。この間に工藤さんが、世界で初めて事業化に成功されました「高分子でありながら金属のように電気を通す新素材の導電性ポリマーを用いたアルミニウム電解コンデンサ」について詳細に解説して頂きました。高度で専門的なお話に参加者一同、配布された資料を参照しながら理解するのに必死でした。

工藤さんの研究と事業化は高く評価されて、高分子学会賞と市村産業賞を受賞され、また高校の教科書にも掲載されたとのこと。



第32回サロン会の様子

第33回サロン会（2016/03/05開催）

東京・東日本橋の貸会議室にてセイコーソリューションズ株式会社の山口彦さんに「エキスパートSEが辿った波乱の40年」というテーマでお話していただきました。

山口さんは八戸高専同窓会関東支部長の戸田さんと同い年で、かつ同じセイコープレジジョン株式会社に定年まで勤められ、現在は関連会社のセイコーソリューションズ株式会社に嘱託として勤務されています。山口さんは八戸二中を卒業後に八戸高校・東北大学理学部に進み、その後偶然にも関東支部長の戸田さんと同じセイコープレジジョン株式会社に入社されました。

山口さんが転勤・出向しながら長年SEとして経験されました製鉄所の生産システムや自動車の総組み立てラインシステム及び金融関係のシステム現場での生々しいお話しをしていただきました。受注したシステムの大幅納期遅れや完成できなかった場合の賠償実態や話し合いがつかずに訴訟になったケースも資料をもとに教えてもらいました。またウィルスや人的ミスによるセキュリティトラブル及びコンピュータが停止する危険性があった西暦2000年問題、さらに金融システム上予想していなかったマイナス金利への対応等も説明して頂きました。私たちが毎日当たり前のように使用している自動車や銀行ATMが完成するまでの裏側の実態に触れ考えさせられるものがありました。

関東支部では今年度もサロン会を2回開催予定です。以下のメールアドレスにご連絡いただければ随時、関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。 tod.kaz@r2.dion.ne.jp

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

八戸高専同窓会関東支部 戸田和孝

私のお仕事紹介します

「入社2年目 日々勉強」

中発テクノ株式会社 設計部
M48 越後 椋太

私は、平成 27 年に中発テクノに入社し、2 年目になります。中発テクノは八戸市の北インター工業団地ハイテクパーク内にある会社で、親会社の中央発條の委託により、自動車のばねやコントロールケーブルの設計・開発、設備の設計・製造を行っています。従業員 13 名のうち私を含め 9 名が八戸高専の卒業生で、話しやすく優しい先輩ばかりです。

私の仕事は主に製品の解析です。解析とは、コンピュータ上で、その製品にどのような力がかかるのか、どのような挙動を示すのかをシミュレーションするものです。解析によって、物を作る前に製品の検討ができるため、試作にかかるコストや時間を減らすことが出来ます。しかし、シミュレーション結果の正しい解釈、考察には製品や工学の知識が必要不可欠となります。高専で学んできた事の重要性に気づかされ、日々勉強しながら仕事をしています。

また、まだ新人ながらも解析を任せて頂いているので、知識や経験を増やし、様々な製品について解析が出来る事を目標に頑張っています。

地元で根差した企業として、地域に貢献出来るよう日々仕事に励んでいます。



業務中の風景

「お客様のお役立ちになれることを願い」

株式会社ジーアイ・テック
執行役員
営業グループマネージャー
E24 向井 誠仁

私は、平成 19 年から現在の会社にて営業職として勤めております。

高専卒業後にシステムエンジニア会社に就職したのち、SE として培ってきた経験を活かして営業としてシステムソリューションを提案する仕事をしています。SE 時代は社内でプログラム設計・開発がほとんどでしたが、今は直接お客様にお会いしてお客様の課題を聞きだし、その課題をインターネットやクラウド等の IT を使って解決策を提案するのが主な仕事です。

提案する内容もここ数年でインターネット、モバイル端末、クラウドサービスの普及により多様化しており、お客様にとって価値のある提案をすることに難しさを感じながらも、システムを導入して頂いたお客様に喜ばれることで少しは世の中のお役に立っているかな、と感じています。

また、高専時代ではあまり学ばなかったビジネス経済、経営学はこれからのビジネスマンにとっても必須知識と感じており、学んでいるところです。



向井 誠仁 氏

学内ニュース

定年退職教員のご挨拶

【産業システム工学科 電気情報工学コース
教授 工藤隆男先生】

～40年を振り返って～

1976年4月から40年間、八戸高専とともに歩み、2016年3月に定年退職いたしました。こうして定年まで勤めることができましたのも、卒業生の皆さんはじめ多くの方々の温かいご理解・ご協力があったることと心から感謝しております。



学生諸君の様子は昔も今も変わらないようですが、学校は様変わりしました。自由と責任のもとに良くも悪くも自立していた当時の雰囲気は感じられなくなり、シラバスに沿った授業、学生による授業評価、ショートホームルーム、高専の理念の変化、事務員削減、ICT化、独法化、教員の定員削減と資格審査、専攻科設置、留学生指導、認証評価などなど、仕事量は多くなるばかりで、疲れを感じることも少なくありませんでした。この原因の1つは、高専を取り巻く時代の変化に取り残されてはいけないというある種の焦りや矢継ぎ早に行われる学校改革などの変化に自分の限界を感じたことにあるようです。

どうやら仕事は守りに入ると疲れるようですが、攻めてみるとヤル気が出るようです。その1例が3Dプリンタコンテストの開催でした。本校に3Dプリンタが導入されたのは2013年度末でした。これを契機に、2008年度から高専の機械系学科を中心に行われてきた競技主体の「CADコン」に対して、プレゼンテーションを主体とした「3Dプリンタアイデアコンテスト」を「IT関連グッズ」をテーマとし、2014年12月に実施しました。経緯は、経産省の方からの「高専の多くのコンテ

ストが教育的でもったいない、社会解決型のコンテストがあってもよいのでは」という岡田校長への助言に端を発します。高専機構に許可をいただき、八戸高専・仙台高専を世話校として東北地区高専が協賛することで開催し、競技委員として事務の方々と二人三脚の日々で何とか開催まで漕ぎ着けました。開催するまでは、どんな作品が出品されるのか不安でしたが、球状のキーボードなどアイディアに富む作品ばかりでした。あらためて高専生の「ものづくりマインド」の高さを示唆するかつてない社会解決型コンテストとなったと嬉しく思っております。このことは、経産省経済白書にも掲載され、また、経産省管轄の3Dプリンタ普及推進委員会委員長の慶応義塾大学教授の田中浩也先生を審査員長に迎え、2015年8月に仙台市で開催したデザコンAMデザイン部門夏大会の契機になりました。2016年度からは「CADコン」と「3Dプリンタアイデアコンテスト」を統合し、かつプレゼンテーションを主体とすることとし、高知高専が世話校となり開催することになりました。このような経緯がもとで定年後の今でもデザコンの委員を務めております。

卒業生の皆さん、これからも続く幾多の荒波が襲ってきたときには「ピンチはチャンスだ。ありがとう！」くらいの積極的な気持ちで臨んでみてはいかがでしょうか。きっと、波が大きいほど、納得のいく成果を得られることでしょう。皆様の益々の幸せと益々のご活躍を祈念し、定年の挨拶と致します。

新任教員紹介

【産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース 准教授 新井宏忠先生】

平成 27 年 9 月 1 日付でマテリアル・バイオ工学コースに着任しました。着任前は株式会社神戸製鋼所の研究所で 5 年半ほど研究員を務めておりました。



大学在学時から民間企業在籍時まで主に鉄鋼プロセスに関する研究を行ってきており、八戸高専でも引き続き金属製造プロセスに関わる研究を進めています。授業は移動現象論や化学工学といったプロセス系の学問、材料強度や組織学などの金属材料関係の講義を担当します。

授業等の教育活動に関しては初心者の方をでませんが、大学時代や民間企業での実体験や経験を伝えていければよいと思っています。特に、「自分の頭で考えること」を重視していますが、これをどう引き出すか日々苦心している所です。

本稿執筆時で着任からすでに 9 か月が経ちましたが、まだまだ不慣れな部分もあります。それを逆手に、常々初心に帰って学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース 准教授 門磨義浩先生】

平成 27 年 12 月 1 日より産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コースの准教授に着任いたしました、門磨義浩と申します。これまでは、岩手大学大学院工学研究科フロンティア材料機能工学専攻にて約 10 年間、助教を務めておりました。専門は、無機化学および電気化学をベースとした材料合成



や特性評価になります。これまでは、高性能二次電池、特に、リチウムイオン二次電池について電極材料の合成や電極の反応解析に関する研究を行ってまいりました。

講義に関しては、岩手大学では学生実験や演習を中心に行っておりました。その際に、高専から岩手大学に編入してきた学生をみて、高専における講義のレベルの高さを感じておりました。これからは、研究のみならず、講義についても高専の講義レベルに相応しくなるように努力をしていく所存です。着任して半年が経ちましたが、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

【総合科学教育科 助教 和田和幸先生】

平成 28 年 4 月 1 日に総合科学教育科に着任しました。昨年度までは北海道大学大学院の博士課程に在籍しておりました。専門は数学ですが、特に量子物理に潜む数学的構造を解き明かす事、具体的な物理モデルを扱い、証明のみで解き進めて現象の解明を行う事を目標に研究をしております。



最近では物性物理に関連する数学的な諸問題にも興味があります。小学校 5 年生から博士課程修了までずっと陸上競技部に所属しておりました。地元は青森県むつ市ですが、ご縁があって八戸市に来る事が出来て嬉しく思います。高専生の中でも下北出身の学生を見かけると個人的に嬉しくなってしまう。高専という教育機関は未だによく分からない事が多く、先生方のご助言のお陰で何とか日々を過ごしております。教育経験は非常に浅いですし、学生から社会人になったばかりですので、未熟な所が沢山ありますが、学生と一日、一日を過ごしていく中で自分も成長していけたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

**【産業システム工学科 機械システムデザイン
コース 助教 井関祐也先生】**

今年度4月より機械システムデザインコースの助教に着任いたしました、井関祐也と申します。



研究では、医用工学を専門としております。この分野は、医学、熱工学、伝熱工学、電磁波工学、コンピュータ・シミュレーション、画像処理など、多岐にわたる専門分野の知識が必要とされる分野で、具体的には最新の癌治療に関する研究を行っています。現在の研究テーマは医用工学に限られていますが、今後は、八戸の地域の特色を活かした研究テーマを開拓していきたいと考えております。

八戸高専においては、熱工学分野の授業を中心に担当しております。教育経験は、学部時代の教育実習と博士後期課程時代に助手をしていた程度で皆無に等しいですが、周りの先生方に支えられながら日々の業務を遂行しております。

これまでのずっと関東に在住してきたので、初の東北地方での生活に初めは戸惑うこともありましたが、最近では八戸の新鮮な海の幸を肴に晩酌をするのがささやかな楽しみになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年度の学内ニュース

自主探究学習ポスター発表会初開催

昨年度より導入した4学期制のうち、夏季休業および秋学期にあたる8月～10月の3か月間で、1～3年生の学生が自主的に取り組んだ探究活動の成果をポスター形式で発表した。

探究に関するテーマは、自由（ただし科学に関すること）で、ユニークな取り組みも見受けられた。発表会では意見交換等が活発に行われる等盛況を博していた。

今年度は対象を本科生全員に拡大し、11月8日～11日にかけてポスター発表会が行われる予定である。



ポスター発表会の光景

ソフトテニス部女子個人

全国高専体育大会優勝及び準優勝！

第50回全国高専体育大会ソフトテニス競技女子シングルの部で物質工学科4年の沢谷実里さんが優勝、建設環境工学科3年粒来真優子さんが準優勝と揃って好成績を収めた。女子シングルスは50回目の節目を記念して今回初めて実施され、16人が出場した。

全国高専プロコン 競技部門初優勝！

11月11日、12日に長野市で開催された「第26回全国高専プログラミングコンテスト」の競技部門（全64チーム参加）において、電気情報工学科5年道上和馬さんをリーダーとして作成した「プ

プログラムが一晩でやってくれました」が本校初となる優勝を飾り、文部科学大臣賞、プロコン競技部門優勝、情報処理学会若手奨励賞、NAPROCK PROCON2015 競技部門 Champion の4冠に輝く快挙を成し遂げました。

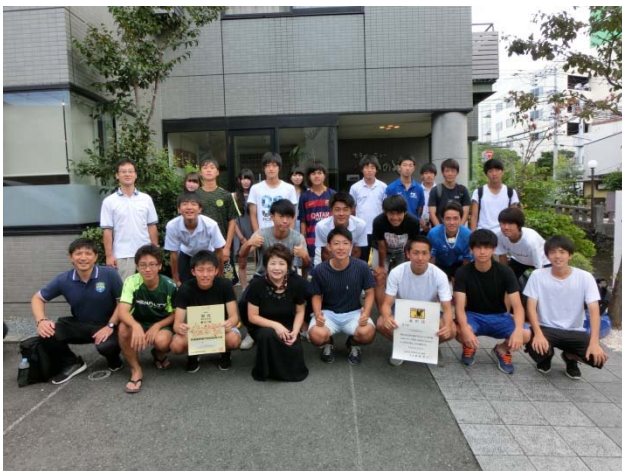


初優勝を飾ったメンバーの皆さん

平成 28 年度の学内ニュース

第 53 回東北地区高専体育大会八戸大会 バレーボール部（男子）優勝 サッカー部優勝、全国大会第 3 位

第 53 回東北地区高専体育大会（八戸大会）において、バレーボール部（男子）及びサッカー部が優勝した。さらに、静岡県裾野市で8月20日から24日にかけて行われた全国大会においてサッカー部は第3位という輝かしい成績を収めた。



宿の女将さんとの集合写真

平成 28 年度 各種大会日程等

本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ

2016 年 第 36 回全国大会（エコラン）

10月1日（土）練習走行、10月2日（日）決勝
会場：ツインリンクもてぎ

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2016（ロボコン）

課題：『ロボット・ニューフロンティア』

東北大会：10月23日（日）

仙台高等専門学校広瀬キャンパス
第一体育館

（宮城県仙台市、

主管校 仙台高専広瀬キャンパス）

全国大会：11月20日（日）

両国国技館（東京都・墨田区）

全国高等専門学校

第 27 回プログラミングコンテスト（プロコン）

メインテーマ：「輝く真珠は僕らの^{アイデア}発想」

本選：10月8日（日）～9日（日）

会場：伊勢市観光文化会館（主管校 鳥羽商船）

第 13 回 全国高等専門学校デザインコンペ ティション デザコン 2016 in Kochi

メインテーマ：『“はちきん”と“いごっそう”』

本選：12月17日（土）～18日（日）

会場：高知ちばさんセンター

（主管校 高知高専）

コースからのメッセージ

機械システムデザインコース

【人事異動】今春4月より、新しく 井関 祐也 先生 が助教として赴任されています。今年度は寮務委員として学生指導に当たられています。昨年度ご定年を迎えられ、今年度は嘱託教授として来て下さっている鎌田長幸教授の熱工学分野を引き継がれているところです。

【進路状況】 昨年度末で本科を卒業した 35 名の進路は、就職 22 名、進学 16 名となっています。就職者のうち県内に決まったのは 6 名でした。進学者のうち 8 名は専攻科に進み、あと 2 年間、本校において勉学に励みます。

専攻科の修了生は 11 人でした。5 名が就職、6 名が大学院進学です。この進学者 6 名全員が東北大大学院に進むことになりました。

今年度は、本科 46 名、専攻科 10 名が卒業・修了予定です。本科はその内 2/3 の学生が就職希望、一方、専攻科は 7 名が進学希望です。今年度の就職活動は、4 月から活発に行われています。進路に関しては、地元のいいところを知ってもらおうという COC 事業の効果も出始めているのか、これまでより、県内就職希望学生が増えています。

【終わりに】 今年度の体育大会応援合戦では、昨年に引き続きバンカラスタイルの応援内容で、見事 1 位を獲得し連覇を達成しました（運動会そのものは雨天で中止でした）。個々の学生の資質は、時代と共に変化しているかもしれませんが、機械工学科としての団結力は、これまで同様、揺るぎないものとして存在しています。

卒業生・修了生の皆様が、本校にお越しの折には、是非とも、お声掛けください。皆様のご活躍をお知らせいただけましたら幸いです。

(機械システムデザインコース長 沢村利洋)

電気情報工学コース

【進路状況】 昨年度は本科卒業生 40 名中 24 名 (6 割) が就職、16 名 (4 割) が進学でした。なお、求人数は 724 社で、求人倍率は 30 倍を超え、リーマンショック以降、増え続けております。専攻科電気系は修了生 5 名中 2 名が就職、3 名が進学でした。

今年度は、本科卒業予定者 38 名で、現在、就職希望者が 23 名 (6 割) で、順調に就職活動を進めております。進学希望は 15 名 (4 割) で、そのうち 2 名が専攻科に推薦合格しました。専攻科電気系修了予定者は 10 名で、就職希望が 1 名、進学希望がなんと 9 名です。

【学生の活躍】 プロコン競技部門において、「プログラムが一晩でやってくれました」チームがついに全国初優勝の快挙を成し遂げました。また、デザコン 3D プリンター部門で特別賞と奨励賞を獲得しました。

専攻科電気系では、各種学会・シンポジウムで 3 名の学生が様々な賞を受賞しました。また、特別研究発表会で 2 名の学生が最優秀賞と優秀賞を受賞しました。

【教員の移動】 昨年 10 月に佐藤健先生が総合科学教育科から配置換えされました。今年 3 月を持ちまして 40 年間勤務された工藤隆男先生がご定年を迎えられました。鎌田貴晴先生が内地研究員として岩手大学に派遣されました。

【最後に】 卒業生・修了生の皆様には、多方面にわたってご支援・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。こちらにお越しの際はぜひお立ち寄りいただき、近況をお知らせいただくとありがたいです。楽しみにしております。

(電気情報工学コース長 松橋信明)

マテリアル・バイオ工学コース

【進路状況】 昨年度の物質工学科卒業生は 38 名（男 21 女 17）で、就職 13 名（男 6 女 7）、進学 23 名（男 15 女 8）でした。専攻科修了生は 7 名（男 6 女 1）で、就職 2 名、進学 5 名でした。専攻科修了生の進学先は、東京工業大学大学院に 3 名、東北大学大学院、北海道大学大学院にそれぞれ 1 名です。

今年度本科 5 年生は 39 名（男 19 女 20）で、就職希望 18 名（男 9 女 9）、進学希望 21 名（男 10 女 11）です。専攻科 2 年生は 12 名（男 4 女 8）で就職希望 2 名、進学希望 10 名です。

【見学旅行】 昨年度の 4 年生の見学旅行は、11 月 3 日（火）～6 日（金）の期間で、ニッカウキスキー㈱、JX 日鉱日石エネルギー㈱、味の素㈱、花王㈱、サッポロビール㈱、大日精化工業㈱を見学させていただきました。それぞれの訪問先では高専OBの方々にも説明に加わっていただき、学生にとって充実した見学となりました。ご協力、有難うございました。

【主催イベント】 中学生向けの「化学の学校」は、昨年 11 月 7 日（土）に開催し、中学 1～3 年生 35 名が様々な実験（13 テーマ）を行い、化学の面白さを実感してもらいました。今年度は、8 月 8 日、9 日に開催予定です。

また、中学校理科教員向け『中学校理科実験のスキルアップ講座』を 12 月 24 日（木）に開催し、中学校教員 27 名が様々な実験に参加しました。

【最後に】 昨年度の改組によりマテリアル・バイオ工学コースとして 2 年目を迎えております。今後とも、卒業生の皆様のご支援ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（マテリアル・バイオ工学コース長
長谷川章）

環境都市・建築デザインコース

【進路状況】 3 月に建設環境工学科を卒業した 37 名の内、20 名が就職、15 名が進学しました。就職の内訳は、11 名が公務員であり、国土交通省、八戸市、青森県、盛岡市、おいらせ町に勤めています。また、JR 各社、電力関係や建設コンサルタント等、9 名が民間企業に勤めております。進学は、本校専攻科へ 7 名、他大学へ 8 名が土木系・建築系の学科等に進学しました。また、専攻科修了生は、東北大学大学院進学が 1 名、公務員採用が 4 名（国土交通省、青森県、八戸市）、民間企業採用が 3 名です。

今年度の 5 年生は 38 名で、就職希望 27 名、進学希望が 11 名となっております。就職希望の 27 名の内、17 名が民間企業を、10 名が公務員を志望しています。今年は、進学志望者が若干減少し、民間企業志望が多くなっています。公務員志望者は昨年度とほぼ同様です。専攻科生は、大学院進学希望 2 名、公務員希望 5 名、民間企業希望 1 名です。学生は進学・就職に向け準備に励んでいます。

【金子先生の定年退職】 昭和 50 年から 41 年間にわたり勤務された金子伸一郎先生がこの 3 月に定年を迎えられました。現在は、再雇用で学生実験指導等を続けておられます。

【最後に】 卒業生・修了生の皆様には、多方面にわたり、いつもご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただき、近況等お知らせください。

（環境都市・建築デザインコース長 藤原広和）

平成 28 年度 事務局短信

★平成 28 年度総会 in 八戸のお知らせ

平成 28 年度八戸高専同窓会総会を下記の通り八戸で開催いたします。会員各位には万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内いたします。

記

日 時：平成 28 年 9 月 24 日（土）15:30 から（受付 14:30～）

場 所：八戸プラザホテル（八戸市柏崎 1-6-6 TEL:0178-44-3121）

本八戸駅より徒歩約 7 分

会 費：6,000 円（卒業 2 年以内の方は 3,000 円，
ご家族同伴の方は 9,000 円）

議 案：

- ①平成 26,27 年度事業報告
- ②平成 26,27 年度決算報告
- ③平成 26,27 年度会計監査報告
- ④平成 28 年度事業経過報告，同会計経過報告
- ⑤平成 29,30 年度事業計画
- ⑥平成 29,30 年度予算
- ⑦50 周年記念事業について
- ⑧支部組織の活動に関する規則の制定について
- ⑨役員改選
- ⑩その他

「スケジュール」

*総会終了後，16:30 から小山高専校長大久保氏による講演会，17:00 から
写真撮影，17:30 から懇親会（8F 展望レストラン）。

*理事の皆様へ：理事会は 13:30-15:00 です。

★10 年会費（7000 円）納入のお願い

今年度は、平成 8 年 3 月卒業（MEC-28 回生，Z-23 回生）および平成 18 年 3 月卒業（MEC-38 回生，Z-33 回生）の方が 10 年会費納入期にあたります。請求書が同封されておりますので、会費納入をお願いいたします。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が 10 年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため住所や職場の変更のあった方は同封の葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会に E-mail アドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要ですので住所等は必ず記載してください。

★平成 27 年度の事業報告

平成 27 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項目
27	4/ 4	事務局打ち合わせ会議開催
	5/ 8	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/30	評議会開催（八戸）
	6/下旬	会報第 41 号発行
	11/21	理事会開催（八戸）
	11/21	学校関係者との懇談会
	3/16	新入会員（第 49 期生）入会式実施

★同窓会会報等の送付先について

同窓会からの郵送物の送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。1 クラスあたり 10,000 円で、先着 10 クラスまでとし、連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。